

シフトインジケータ インストールマニュアル

suzuki スイフト用 DBA-ZC71S DBA-ZD21S CBA-ZC31S

「シフトインジケータ」をご用命頂きまして、ありがとうございます。
シロートの拙い工作物ですが、その辺りは笑って許してくださいませ。
楽しいカーDIYの一つとして、お楽しみ頂けると幸いです。

2010/2 えむ屋

取り付け時の注意

1. 電装系のDIYは誤配線があると、最悪出火等の可能性が有ります。
説明を良く読んで、トラブルの無いようにお気をつけ下さい。
2. エアバックが標準装備されている場合。
センサーが活着している間に、不要なショックを与えると、エアバックが作動したり非常に危険を伴います。

必ず BATTのマイナス端子を外し。3分以上待ってから作業して下さい。
静電気にもご注意ください

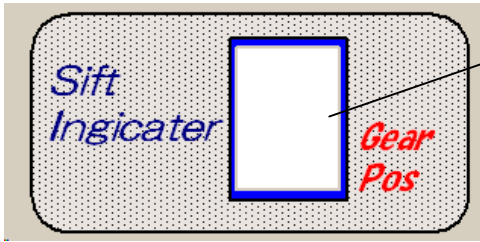
3. ご自分での取り付けに自信がない場合、有る程度のスキルをお持ちの方と一緒の作業をお勧めします。
4. 個人的にお分けする物です。製品保証等、一般の製品に有する保証関係は、いっさいありません。その分、お安いと言うことでご理解下さい。

誤接続以外の問題で、本体の初期動作不良が認められた場合のみ
交換をいたしますので、ご連絡下さい。
誤接続によるユニット破損は保証いたしかねます。

5. ディーラー、カー用品店等への取り付け依頼は、おそらく断られると思います。(爆)

上記を怠ったため、発生した 問題・事故 等につきましては、作業される方の責任の範囲内とさせていただきます。
その点の保証等はいっさいいたしかねます。ご了承下さい。

「シフトポジション表示部」



数字で 1 - 4 が表示されます
ATが P、N、R 以外の時表示されます

内容の確認

1. ユニット本体。
黒(または白)のプラケースに基板が収納されています。
赤・黒・白・緑・黄・青・橙 の7本の線が出ています。
中間に中継コネクタが付いています。
赤のコードにヒューズが付いています。 1A または 2A です。
2. インジケータ部
黒のプラケースに、LEDが組み込まれています。
1 - 2は シールド線で接続されています。
3. ワンタッチカプラ 7個

別途必要な物

1. 電源取り出しケーブル 1本
電源取り出しを、ヒューズBOXから行う場合
電源取り出しKITが必要です。
用品店等で、ヒューズBOX電源取り出しケーブルを購入します。
(15A用)
ヒューズBOX内 から取り出します。(No.27 ACC1)
他にACC電源を取り出す箇所をお持ちの場合、そちらに
準じた物を使用して下さい。

必要な工具

1. プライヤー
ワンタッチコネクタの取り付けに使用
2. 10mmソケットレンチ等
アースを取り付けるために使用

取り付け手順

1. インジケータ部の取り付け

- (1) ステアリング下パネルを取り外します。
- (2) ユニートをセンターコンソール下に納め、電源線(黒・赤)をヒューズBOX側へ。
その他の配線は助手席左側のATコントローラへ接続するために取り回します。
- (3) インジケータを好みの位置に張り付けます。

2. ATコントローラとメインユニットの接続

メインユニットの信号線(5本)を ATコントローラのカプラにワンタッチコネクタを使用して、接続します。

3. 電源の取得

- (1) ACC電源を接続します
- (2) ボディーアースを接続します

1. インジケータ表示部の取り付け



ハンドル下部のパネルを外します。

クリップによるはめ込みです、引っ張り出すだけで外れます。



ユニットの位置は、センターコンソール下の隙間に納めます。

赤(ACC)、黒(アース)の2本は 運転席右側へ
その他の5本の配線は、センターコンソール下を通し、助手席側へ引き込みます。

表示部は、ハンドル脇を通し、ハンドルコラム上等に設置してください。





ATコントローラへの配線をするために、助手席側のカバーを外します。



発煙筒下あたりに、ピンが差し込まれています。
中心を押し込むことで、外します。



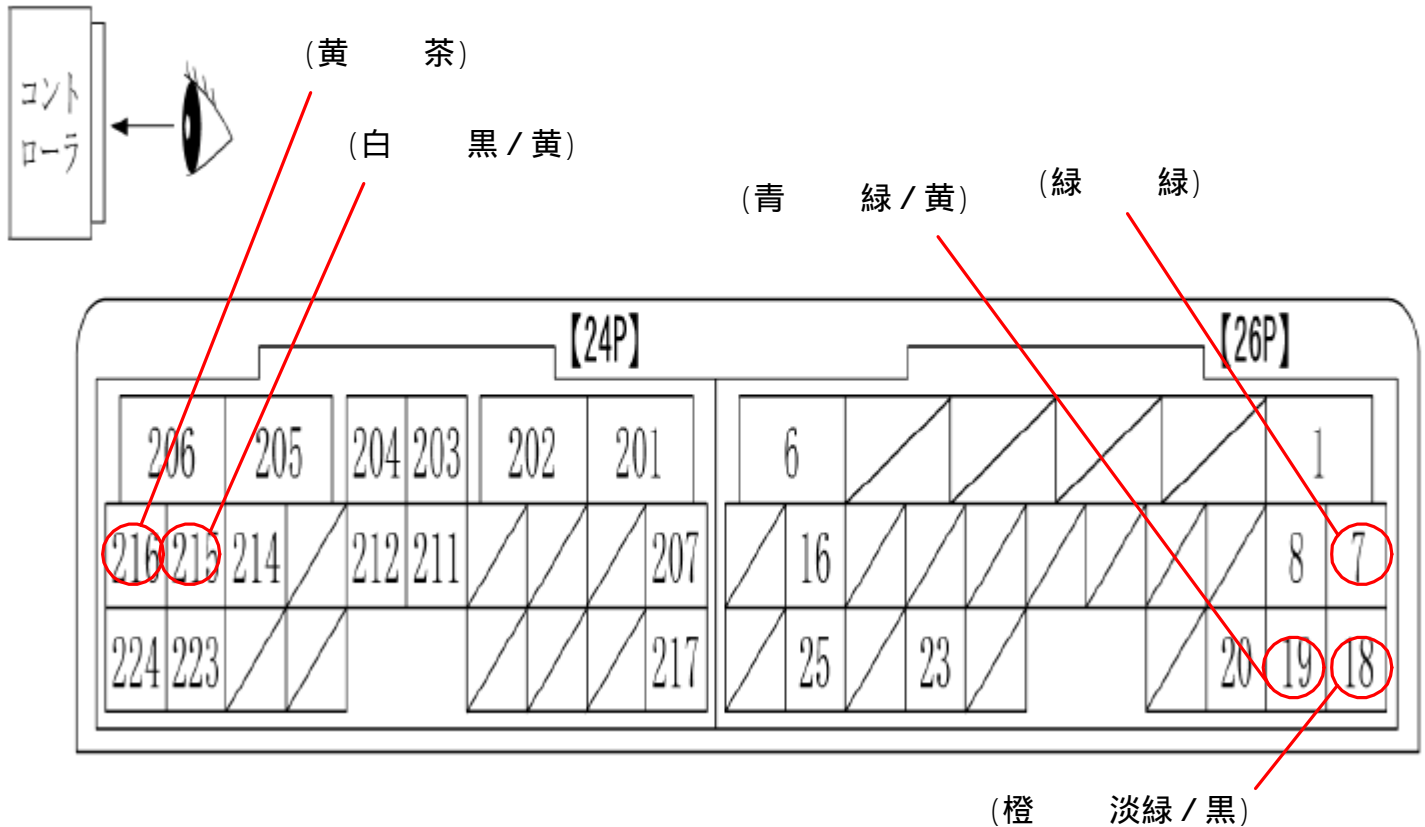
カバーを引っ張り出して外します。
矢印の奥辺りに ATコントローラがあります



この2個のコネクタを抜きます。
ピンを押し込みながら引っ張る



次のページの接続図に従い、ユニットの配線をATコントローラへ接続します。



(1) 24Pカプラに接続

黄 - - - S1 216番(茶)
 白 - - - S2 215番(黒/黄)

(2) 26Pカプラに接続

緑 - - - シフトD 7番(緑)
 青 - - - シフト2 19番(緑/黄)
 橙 - - - シフトL 18番(淡緑/黒)

ユニットの配線を、ATコントローラカプラのハーネスに接続します。

このとき、ワンタッチカプラを使用します。

ハーネスは、黒いテープで巻いてあるので、少し剥がした方が、取り付けしやすいです。

ここの接触不良、配線間違いがあると、正しく表示が出ません。(要注意)

どのカプラかは、上記の 形状・線色等で判断してください。

- - - 重要な注意 - - -

保護テープを剥がす時、カプラで割り込ませる時、十分注意してください。

いい加減な作業で、ECUのハーネスを切断したり、破損したりすると、最悪の状況になります。

この点がきちんと出来ないおそれが有る場合、取り付け自体をあきらめてください。

このトラブルを 含め、問題が発生しても、責任は取れません。

この点だけは、ご了承下さい。



ヒューズBOXのACC1へ、ヒューズ電源取り出し15A を使用しユニットの赤線 を接続します。

ユニットの黒線は ボディアースしてください。

これで、取り付けは完了！
あとは、動作確認だけです。

「 「 動作チェック 」 」

1. エンジンを始動。
2. Dレンジで走行し、 変速に合わせて表示が変われば 接続はOKです。
表示が変な場合、まず ATコントローラへの接続が正しいか確認してください。

- - - トラブルシューティング - - -

ユニットは、出荷前に動作チェックを行っています。
もし、動作がおかしい場合、まず 正しく接続されているかを、十分確認願います。

「 動作チェック 」

1. 全く表示しない

LEDもシフトポジションも表示されない

- ・ACC への電源接続は正しいですか
- ・GNDの接続は正しいですか
特に、GNDの接続不良は原因になりやすいです。
- ・ユニットの赤線に黒いヒューズBOXが付いています
ねじると、1Aのヒューズが入っています。
切れている場合、入れ替えてください。
再度切れてしまう場合、配線の確認をしてください

5. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 正しく表示されていない。

- ・黄、白 線の接続を確認します

4. 変速の表示がおかしい

変速に併せて 全く表示されていない。

- ・黄、白、黄 線の接続を確認します

''' **すべて確認しても おかしい場合** '''

- ・白のカブラを外して、ユニットを送付して頂ください、確認をいたします。

''' **万一、走行に支障が出た場合** '''

カブラを外してください、ユニットは完全に切り離されます。
それでもおかしい場合、ATコントローラへの割り込み配線時のトラブルがあり得ますが、
その場合、問題は深刻です。ディーラー等で ATコントローラ周りのチェックが必要です。

このユニットから ATコントローラに対して 出力はしていません。
電圧のモニタをしているだけです。接続により ATコントローラに負荷が掛かりトラブルを起こすことは有り
ません。

ただし、厳密に言うと メーカーによる保証外の用品取り付けと言えるので、その点だけはご了承ください。